

## 第5回 新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会 議事要旨

■日 時：令和6年8月28日（水）10:30～12:00

■場 所：大阪市役所 屋上階（P1）共通会議室

■出席者：別添の「出席者名簿」のとおり

■次 第：○開会

- ・あいさつ
- ・出席者紹介

○議事

1. 新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組

- （1）プロモーションの取組概要
- （2）新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法
- （3）新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウムの開催内容

2. 十三駅エリア・淡路駅エリアのまちづくり

- （1）エリア計画の骨格について

○閉会

■要 旨：

### ○開会

**部会長：森岡 大阪府副知事**

大阪府副知事の森岡でございます。本日は大変お忙しい中、多数の方にご出席いただき誠にありがとうございます。大阪を訪れる外国人旅行者数も、皆様ご存知のように、新型コロナウイルス前を既に超え、どんどん増えつつあります。

その中で、大阪・関西万博まで残り227日となりました。今後国内外からの来訪者は更なる増加が見込まれます。大阪が更に成長・発展してゆくためには、この大阪・関西万博のインパクトを活かし、大規模なプロジェクトを着実に進めてゆくことが必要です。

来週の9月6日には、万博に先駆けまして、うめきた2期区域がいよいよ先行まちびらきを迎えます。

新大阪駅周辺地域につきましては、大阪全体のまちづくりの方向性を示す、「大阪のまちづくりランドデザイン」におきまして、世界に存在感を発揮する拠点として位置付けております。リニア中央新幹線、北陸新幹線の全線開業等によりまして、広域交通の一大ハブ拠点となる絶好の機会をとらえ、世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりをめざしているところです。

こうしたまちづくりの推進に向けまして、皆様とともに取組を進めてきたところであり、昨年12月に開催しましたまちづくり検討部会では、民間開発の機運醸成に向けた今

後のプロモーションの取組、また、十三・淡路駅エリアにおける良好な都市開発プロジェクトを誘発するため、エリア計画を作成し、早期からPRに取り組むということを確認させていただきました。

本日は、今年度実施します主なプロモーションの取組、また、十三駅および淡路駅のエリア計画の骨格について共有させていただき、今後のまちづくりの進め方についてご議論いただければ幸いです。

皆様の自由闊達なご意見・ご提案をお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

## 事務局

- ・出席者紹介

## 真田 内閣府地方創生推進事務局参事官

内閣府地方創生推進事務局で都市再生緊急整備地域の制度を担当しております、参事官の真田と申します。本日はWEBでの参加となり失礼いたしますが、議事に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度2月に本部会におきまして、これまでの検討会に加えて、十三駅・淡路駅のエリア計画策定検討会の設置が承認されたことと承知しております。

新大阪駅周辺地域のまちづくりに関する議論については、ますます具体化をしまして、これからの動向に関心が高まっていくことと感じております。

また、先ほど冒頭で森岡副知事様からもお話がございましたが、来年4月には国内外から、大変な注目を集めております、大阪・関西万博の開催や、その先にはリニア中央新幹線の開業が予定されているなど、大阪のまちづくりの機運が非常に高まっていると感じております。このような動きと本部会などを上手く活用していただきながら、効果的なまちづくりや、投資の呼び込みへと繋げていただければと考えております。

最後になりますが、今年6月中旬に、十三・淡路駅エリアを、大阪市計画調整局の山田局長様ほか皆様にお世話になりまして、現地のご案内をしていただきました。その節は大変ありがとうございました。おかげさまで本日の議題につきましても現地の状況を思い起こしながら参加させていただけると考えております。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

## ○これまでの検討状況について

### 事務局

- ・資料説明

参考資料2 これまでの検討状況について

## ○議題

### 1. 新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組

### 事務局

- ・資料説明

資料1 新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組

資料1別紙 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの募集要項案

### 部会長：森岡 大阪府副知事

議題の1につきまして、ご意見等ございませんでしょうか。

### 真田 内閣府地方創生推進事務局参事官

内閣府地方創生推進事務局の真田です。制度を所管している立場からこの取組について、ぜひお願いしたい点について発言をさせていただきます。

現在、緊急整備地域を指定させていただいております新大阪駅の周辺ですが、具体的に動きの見られる民間の開発事業、明確に動いているプロジェクトが無いという中で、緊急整備地域の指定を継続するにあたり、議題の1で議論いただいたような民間投資の促進などを目的とした、自治体様を中心とした動きが非常に大事になっていると考えております。地域を指定するにあたって、民間投資の促進を目的として令和4年度のタイミングで指定をしたと感じておりますので、ぜひこのようなキャッチフレーズの選定やシンポジウムの開催など、社会に対して、この地域の投資の呼び込みなどを促進するような動きを積極的にお願ひしたいと考えております。以上でございます。

### 部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。事務局から何かございますでしょうか。

### 事務局

キャッチフレーズの募集とともに、シンポジウムでは地元の動きもあわせて発表していただくということで、地元を巻き込んだかたちでのプロモーションに積極的に取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

**橋爪 大阪公立大学研究推進機構特別教授**

民間都市開発誘導方策の検討会部会長を務めております橋爪です。新大阪駅エリアのまちのコンセプト案におけるキーワードについて議論いたしました。地下に新しい駅が出来ることを想定して縦方向のつながりが重要になるということから立体的な空間、多様なものが受け入れられる多面的なまちというキーワードを選んでおります。議論を重ねる中で、もうひとつ、あまり使われておらず魅力的な新しい概念を入れたいと思ひまして、「加速度的」というキーワードを用いております。

まちの変化のスピード感や、新幹線や新しい鉄道路線が出来ることで他の地域と短時間でつながることになるという意味を合わせたワーディングです。スピード感をもって、まちづくりを進めていけることを期待して、この言葉を入れております。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ご尽力いただきありがとうございます。特に「加速度的」というところに重きを置きますので、そういったキャッチフレーズを募集し、より新大阪のまちづくりにつながるよう努力してゆきたいと思ひますので、これからもよろしくお願ひいたします。

他にご意見等ございませんでしょうか。

**一同**

・意見なし

**部会長：森岡 大阪府副知事**

議題2の後に時間を設けますので、取組について他になにかご意見ございましたらその際にお願ひいたします。

**2. 十三駅エリア・淡路駅エリアのまちづくり**

**事務局**

・資料説明

資料2 エリア計画の骨格について

資料2別紙1 十三駅エリア計画の骨格

資料2別紙2 淡路駅エリア計画の骨格

**部会長：森岡 大阪府副知事**

議題2につきましては、順にご意見を伺ってまいりたいと思ひます。

小林先生、お願ひいたします。

**小林 京都大学経営管理大学院特任教授**

エリア計画の具体的な骨格ができて、いよいよ始まったなという実感を持ちました。今日の話は第一歩ということで、機能的な話はお示しいただきましたけども、ソフト面はこれからという印象を受けました。

新大阪駅エリアのキャッチフレーズを選ぶ時には慎重に、フレーズと中身の乖離が生まれないように見ていただければと思います。

PRという言葉はよく出てきますが、PR=広報と捉えられているのは日本だけで、本来パブリック・リレーションズという意味が普通です。どういう人たちがまちとの関係性を築いてゆくのかというのがPRなので、一気にすべての人にプロモーションするのは無理なので、最初は民間事業者だけ呼び込み、そこに重点を置きながらプロモーションしていただければと思います。

まちづくりが成熟してゆくにつれて、どういった人を対象にするのかということも審査してゆくと思いますので、PRがそういう意味だということを改めて確認しておきたいと思います。よろしく願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

貴重なご意見ありがとうございました。まずはキャッチフレーズと矛盾が無いように気を付けてゆきたいと思います。PRの方は、時間軸とともにどのような関係性を築いてゆくか、十分留意してゆきたいと思います。

それでは、橋爪先生よろしいでしょうか。

**橋爪 大阪公立大学研究推進機構特別教授**

方向については、ご提案のかたちで進めていただければ良いと思います。

十三駅エリアに関しましては、新たな駅の建設や駅周辺の整備に関連するプロジェクトだけではなく、区役所跡地の図書館や淀川の河川敷の利活用も重要であると思っています。

たとえばソウルでは、本のあるまちづくりを前面にだしています。近年一番話題の観光スポットが、ショッピングセンターの中にある巨大な本棚がある図書館です。公共主催の集客イベントでも、ソウル図書館がやっている、広場や河川敷で本を読むという野外図書館がすごく魅力的です。本を読まなくても本のある場所で時間を過ごすという事が非常に話題になっています。従来の図書館とは全く違う図書館が、世界の様々な開発のトリガーとなる施設になっております。区役所跡地の図書館も、単に従来の地域住民の図書館ではなく、まちづくりに資するような新しい図書館となることを期待しています。

河川敷に関しては、淀川舟運が将来的に大阪湾と淀川上流と繋がってゆくことが期待されます。十三駅より南側の回遊性についても意識してゆきたいと思います。

また壁画でまちを飾る「淀壁」も記載されています。世界中で壁画によるまちづくりがされており、まちの歴史を壁画で描いてゆくことで、観光に限らず地域の住民の心の拠りどころになっている例もあります。現状の淀壁は全体像が分からないですし、充分にはアピール出来ていないと思っています。ユニークな壁画がエリア内に展開されており、魅力的なアートなので、世界に淀壁をアピールするために、パブリック・リレーションズ含めて展開できればと思っています。

淡路については、12ha という広大な土地が想定されていますが、開発のトリガーとなる機能や施設がまだ見えておりませんので、こういったことをきっかけに変えてゆくのかということは今後考えていくことになろうかと思えます。

また、十三と同様に、エリアを繋いでゆくようなアイデアも必要かと思っています。十三・淡路とも、区役所が地域の方の窓口になっていただき、独自のプロジェクトにより個性が出れば良いと思えます。

昭和42年に、新大阪が大阪市の総合計画で「副都市」と位置付けられた際に、大阪都心部の過密を解決するための受け皿であるという意味付けと同時に、特色ある地区にするという事が書かれています。新大阪地区の今後に関しましても、世界の他の再開発とは異なる特色を謳っていきたいと思えます。

#### **部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。貴重なご意見をたくさんいただいたかと思えます。これからもよろしく願います。

それでは JR 西日本武市様、お願いいたします。

#### **武市 西日本旅客鉄道株式会社常務執行役員地域まちづくり本部本部長**

JR 西日本としましては、淡路駅エリアのまちづくりと JR 淡路駅について意見いたします。JR 淡路駅は2019年3月に開業させていただいております。現在コロナ前のご利用者数を大きく上回る状況となっており、2023年にはうめきたエリアと繋がったこともあり、おおさか東線の利便性が非常に高まっている状況にあります。おおさか東線は、大阪都心部から放射状に延びる各私鉄、地下鉄を繋いでいるということで、関西一円から淡路駅エリアを繋ぐことが出来ると考えています。開発エリアの人の流れをつくることに大きく貢献できていると思っていますが、今回示された骨格のように、エリア全体の回遊性を向上して、淡路駅エリアを活性化していただくと更におおさか東線が貢献できると思っています。

淡路駅エリアは新大阪駅から1km程度と非常に近いですが、現在は新大阪駅から東側というルートはあまり無い状態です。これから北陸新幹線などの広域交通ネットワークが整理されていく中で、ぜひ新大阪の東側エリアに玄関というか、流れをどう作り出すかということを繋げていただき、淡路駅エリアの開発といかに融合させていくかとい

う事が淡路駅エリアの活性化に必要だと考えています。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。続きまして、JR 東海伊藤様、お願いいたします。

**伊藤 東海旅客鉄道株式会社総合企画本部東京企画開発部担当部長**

JR 東海の伊藤でございます。武田の代理で参りました、よろしくをお願いいたします。

新大阪駅は東海道新幹線にとって非常に大事な駅であり、東海道新幹線について日頃から多大なご協力をいただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

東海道新幹線を運行する弊社にとって、新大阪駅の持つ交通結節点としての機能を向上させる取組というのは、大変意義のあるものだと考えています。そこに加えて、サブ拠点として位置付けていただいている、十三・淡路駅エリアの高度なまちづくりへの取組も着々と進んでいくだろうと考えていますが、このエリアの全体のパワーを強くしていくものと思います。

十三駅については、新大阪連絡線、なにわ筋連絡線の新駅プロジェクト、これを中心として、交通の利便性あるいはネットワーク特性を活かした魅力ある駅まち一体の空間の方向性が示されていていっていると思っています。

淡路駅エリアでは、広大な将来の開発用地を活かす方向性として、交通利便性を活かした拠点性の更なる向上が図られていく方向性を認識しています。

今後それぞれのエリアにおいて、将来の拠点機能が効率的かつ効果的に発揮される空間づくりという検討が進められていくものと考えておりまして、リーディング拠点である新大阪駅エリアを中心とした3つのエリアが連担をして、全体として機能的で魅力のある拠点地域が形成されていくことを期待しています。

引き続き、鉄道事業者としての使命を着実に果たしていくとともに、新大阪駅周辺地域の機能的で質の高い空間というまちづくりの実現に向けて連携協力させていただきたいと考えています。どうぞよろしくをお願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。それでは、阪急電鉄の上村様、お願いいたします。

**上村 阪急電鉄株式会社専務取締役**

阪急電鉄上村でございます。十三・淡路駅はともに拠点として重要な駅でして、検討会に参加しながらお手伝いさせていただいております。

十三は今一番動いているのが、淀川区役所跡地のジオタワーでして、そこを拠点として船着き場まで繋がれば、十三を変え起爆剤となると思っています。その中で淀壁や十三

(JUSO CROSS) など地域の方が活動されていることもあり、地盤が出来てきたかなと感じており、期待していますし、我々も応援していきたいと思っています。

淡路は、ハードについては、高架下だけではなく換地をいただいているところですので、新大阪に繋がっていくまちづくりができると考えています。

地元については、商店街も盛り上がり地盤が出来上がっていると感じています。今後とも努力していきたいと思っています。よろしく願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。続きまして、大阪メトロ堀様、お願いいたします。

**堀 大阪市高速電気軌道株式会社常務取締役交通事業本部長**

大阪メトロ堀でございます。新大阪につきましては、新幹線の計画もありますし、ターミナルとしてみます重要度が高まると考えています。

十三・淡路駅エリアについては、それぞれのまちの特色を生かして魅力の高い拠点として重要であると認識しています。

弊社は大阪の交通を便利にしていくということで、様々なサービスと交通を一体的に提供して、皆さんの生活の質を向上するというところで、都市型 MaaS 構想を掲げて推進しているところです。その取組の中に、中心としてオンデマンドバスの拡充があり、これにより移動の毛細化、パーソナル化を進めて、様々な方々の移動ニーズに応えていけるような取組をしております。これよりさらに自由度が高いタクシー事業を加えることで、よりそれらに貢献できると考えています。

こういった取組が新大阪駅エリア、十三・淡路駅エリアを中心として、エリア内の回遊性、エリア間のアクセス向上性に寄与できるのではないかと考えており、回遊性ならびにアクセス向上について貢献していきたいと思っております。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。エリア内外の回遊性につきまして、これからもご協力よろしくお願いいたします。

続きまして、近畿地方整備局中橋様、お願いいたします。

**中橋 国土交通省近畿地方整備局建政部長**

近畿地方整備局の中橋でございます。新大阪駅周辺あるいはサブ拠点については、ポテンシャルが非常に高いということは皆さん重々承知の通りで、わたしもこのエリアの計画を考えることは重要だと考えております。エリア計画の骨格をまとめていただいたことに関して大変ありがたいことだと思っております。内容についても概ね賛同できると思っております。



ただ、どのまちづくりにおいても、交流機能など同じような機能を強調して、拠点として整備をするということが言われることが多いので、他と同じようなものにならないよう、エリアの特色を生かすことが重要だと思っています。

十三で言えば、個人的に水辺（淀川）に近いのが大きな特徴ではないかと思っています。そういったことも含めてエリアの特色を活かすと書かれていますので、今後検討するとは思いますが、そういったところも重視していただけたらありがたいと思っております。

淡路についても同じ様な機能を書かれているところがあるので、十三とあまり似すぎてもどうかと思ひまして、一帯としてエリアの価値を向上させるうえでは少し差がある方が良いのではないかと思います。今後関係者と議論する中で、検討を深めていただければと思います。

今後、地域住民のご意見伺いながら進めていくことは重要なことだと思いますし、今後計画がより具体的になっていく中で、ビジュアル的にも共有しながら進めていくことも重要であると思います。最近では3D都市モデルなど共有しながら進める事例もありますので、より議論が成熟してきた適切な段階で、ビジュアル的なイメージも共有できるようなかたちで議論を進めていただければと考えています。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。十三・淡路の差別化、特色のあるまちづくりをめざしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは近畿運輸局北川様お願いいたします。

**北川 国土交通省近畿運輸局交通政策部長**

近畿運輸局の北川です。現在の十三・淡路駅をイメージすると、共通して駅前にバスやタクシーがあまりおらず、駅から離れた幹線道路まで出ないといけない状況と思っております。そのため、バス停やタクシー乗り場についてのエリア計画の内容をこれから充実させていくと思いますが、そういう段階で検討していくというのがあるかと思ひます。

また、地域とのシームレス化について、MaaSの活用や他の交通網との連携も含めて重要かと思っております。各拠点間のアクセス性についても、今後高まっていくかと思ひますが、大型手荷物を持ったインバウンドの方々、ベビーカーも多いエリアですので、まち全体のにぎわいを高める中で、バリアフリーも大変重要であると思ひます。

最後に、住民の方々の意見も重要になってくると思ひますので、それらも踏まえながら進めていただけたらと考えております。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。さまざまなノウハウを繋ぐことを意識して、まちづくりを進めて参りたいと思ひます。よろしく願いいたします。

それでは関西経済連合会関係をお願いいたします。

### 関 関西経済連合会専務理事

本日も説明いただきました内容について同意させていただきます。引き続き、北陸新幹線、リニア中央新幹線の一日も早い大阪までの全線開通に向けて、他の経済団体や自治体と連携して活動を行っているところでございます。

リニア中央新幹線については、昨年12月に名古屋以西の環境影響評価の着手が実現いたしました。また、(国の)骨太の方針においても最速2037年の全線開業を想定した取組が改めて盛り込まれまして、大変心強く思っております。北陸新幹線については与党整備委員会が開催され、詳細ルート、駅位置、工期などが示されました。着工に向けた予算については、国交省から来年度予算に向けた事項要求がなされ、それぞれ大きな前進があると評価しています。ただし、工期については、25～26年という我々の想定を超えた長期のスケジュールが示されており、懸念を感じております。

新大阪のキャッチフレーズについては、北陸新幹線のスケジュールを見ますとかなり長丁場になる事が想定されており、この間のモメンタム(勢い・機運)を維持することが大事であり、なんらかのキャッチフレーズがあった方が良いと思っております。

北陸新幹線のこれまでは北陸の方の熱意でこぎつけている部分があるかと思いますが、ここから先は関西の方の意気込みで引っ張っていかねばならないと思っております。

新大阪のまちづくりのキャッチフレーズがあれば、そういう意気込みを示す一つの証になるのではないかと期待しています。

十三・淡路につきましては、ハード面のみならず、ソフト面についても、どのような都市機能が期待されるのか、議論していく必要があると思っております。

### 部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございました。キャッチフレーズをこれからも活用していきたいと思えます。

それでは大阪商工会議所近藤様をお願いいたします。

### 近藤 大阪商工会議所常務理事・事務局長

大阪商工会議所の近藤でございます。先ほどご説明いただきましたエリア計画の骨格について特段異議はございません。骨格通りに計画を進めていただければと思います。

十三・淡路駅エリアですが、都会の中でありながら豊かな自然を感じられる淀川河川敷や、活気のある商店街・飲食街など魅力的な観光資源も多くありますので、計画策定に際してこれらを積極的に活用・発信することを念頭に置いていただければと考えます。これにより、新大阪が広域交通のハブ拠点になった際も国内外から来訪する人を十三・淡路駅エリアへ誘導することができるのではないかと思います。

今後それぞれの地域でエリア計画を円滑に推進していくためには、ホームページなどで適宜情報を公開して、新たなまちづくりの機運醸成を図っていただくとともに、地元関係者や住民の声を幅広く取り入れていただくことも重要と考えております。私共も地元経済団体として主に商工業者を対象とした情報発信に協力して参りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。地元住民の皆さんの意見を伺いながら、進めて参りたいと思います。

それでは、関西経済同友会與口様お願いいたします。

**與口 関西経済同友会企画調査部長**

ご説明いただきました内容は同友会としても同意いたします。

人を呼び込む、人の滞留を促す、人中心の空間づくりの計画が2040年頃を見据えておりますので、16年後にも通じる価値観であると思われました。

先ほど橋爪先生より韓国ソウルの話をしていただきましたが、世界の都市は、お金や地価ではないところで勝負し始めていると感じております。お金やGDPでは測り切れない価値を計測していこうという動きもあり、この（人中心という）価値観を大事にしていきたいと思えます。「いのちかがやく」ことに資するまちづくりとはこういうことだ、という部分に大変共感しました。ありがとうございます。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。

それでは、淀川区岡本区長様お願いいたします。

**岡本 大阪市淀川区長**

淀川区長岡本でございます。淀川区におきましては4月の推計人口で、平野区を抜いて大阪市で最も人口の多い行政区となりました。また、7月22日には淀川区が誕生して50周年を迎えることが出来ました。

そのような中、十三駅エリアでは、淀川河川敷で民間事業者によるにぎわい創出事業が十三船着き場とあわせて来年4月までに開業する予定です。また、もと淀川区役所跡地では令和8年にランドマークタワーが竣工予定でございます。そして、十三駅エリア計画の骨格が示されることによりまして、淀川区全体の価値向上に繋がることを大いに期待しています。

十三駅エリア計画策定検討会と密に連携を図りながら、区役所が窓口となり地域の方々との丁寧な対話を行う事により、エリア計画を充実した素晴らしいものにしていき

たいと考えております。引き続き十三駅エリア、新大阪駅周辺地域の発展価値向上に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。これからも十三駅エリアのまちづくりにご協力よろしくお願いいたします。

それでは、東淀川区武富区長様よろしくお願いいたします。

**武富 大阪市東淀川区長**

東淀川区長武富でございます。よろしくお願いいたします。今回エリア計画の骨格が示されたところですが、今後、この計画の実現によりまして、東淀川区西部地域全体の活性化が図られ魅力的なまちになることを非常に期待しております。

当区では、様々な都市基盤整備や開発によりまして、今後大きく変わっていくまちの将来像について、地域住民の皆様方とともに話し合いを重ねてきました。今後こうした経過を踏まえて、淡路駅エリア計画策定に向けて、これまでの地域住民の取組、地域の意見が反映されるよう、活発な意見交換を行い、検討を進めていくようお願いしたいと思っております。区役所としても、現場感覚、地域とのつながりを活かしながら、関係者と連携を図りながらエリア計画策定に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。エリア計画策定にむけまして、これからもよろしくお願いいたします。

それではWEBでご参加いただいています、内閣府の真田様よろしくお願いいたします。

**真田 内閣府地方創生推進事務局参事官**

十三駅、淡路駅の2つのエリアについては、既に都市再生の緊急整備地域に指定してあります新大阪駅エリアと隣接した拠点であると考えています。このため、両エリアの計画の具体化、プロジェクトの進捗によっては、この2つのエリアについても将来的に都市再生緊急整備地域に指定が検討されうるものと考えます。

プロジェクトの具体的な内容やスケジュールなどを整理していただき、引き続き皆様と連携して取り組んで参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。これからもご支援よろしくお願いいたします。

それでは皆様のご意見を踏まえまして、高橋副市長よろしくお願いいたします。

**高橋 大阪市副市長**

十三・淡路両駅の骨格については、本日の意見をふまえ、今年度末のエリア計画策定に向けて進めて参りたいと思います。また、作成にあたりましては、本部会の構成員だけでなく、区役所や地域と連携して特色を活かしたまちづくりの検討をお願いしたいと思えます。

また、将来的には都市再生緊急整備地域の指定も見据えつつ、バージョン1.0の案を固められるように検討をお願いしたいと思います。検討にあたっては、長丁場になりますので、資料2のロードマップをしっかりと作っていくことが大事かと思えます。

淡路では浄水場のダウンサイジングをメルクマール（進捗を確認するための目印）として、まちづくりを進めていくものと思えます。

十三では、新大阪連絡線・なにわ筋連絡線について、課題はあると思えますが何年ごろを目標にして、何をするのか、関係者間で検討していただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

ありがとうございました。

それでは、皆様にいただきましたご意見を踏まえまして、エリア計画の骨格をもとに、作成を進めていただくようお願ひします。

全体を通して、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

**一同**

・意見なし

**部会長：森岡 大阪府副知事**

それでは、本日の議事はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

**○閉会**

**高橋 大阪市副市長**

本日は様々なご意見を頂戴いたしまして、あらためてお礼申し上げます。

新大阪駅エリアのプロモーションにつきましては、今年度に東海道新幹線開業60周年、山陽新幹線開業50周年を迎える機会でございますので、PRをするためのキャッチフレーズの決定、シンポジウムのプロモーションをぜひとも、引き続き民間と連携しながらしっかりと検討をお願いいたします。

また、十三・淡路駅エリアのまちづくりににつきましては、それぞれの魅力を有効活用して、良好な都市開発プロジェクトを誘発してくるようスケジュール感を持って、また、都

市再生緊急整備地域の指定も見据えながら、バージョン 1.0 の作成に取り組んでいってほしいと思います。

新大阪のまちづくりについては、整備新幹線の新駅位置が具体化して参りますのでそれを踏まえまして、新大阪駅エリアのまちの将来像の具体化の検討を進めるとともに、十三・淡路駅エリアの計画を踏まえ、新大阪駅周辺地域のまちづくり方針も部会でご議論いただきたいと思います。皆様には引き続きのご協力をお願いしまして私からの挨拶とさせていただきます。

**部会長：森岡 大阪府副知事**

本日は長時間にわたりましてご議論いただき、また、様々な貴重なご意見を承りました。本当にありがとうございます。いただきました皆様の意見を踏まえまして、新大阪・十三・淡路の3つのエリアが、それぞれの特色を活かしながら、一体となって魅力の高い拠点が形成されるよう、まちづくりを進めていきたいと思っております。

また、新幹線新駅の駅位置の具体的な提示に合わせ、駅前広場の機能向上、駅とまちを繋ぐ歩行者動線など、にぎわいのある駅周辺の空間形成に向けた具体的な検討を進めていきたいと考えております。

引き続き皆様におかれましては、新大阪のブランド力向上に向けたプロモーション、プロジェクトの推進に向けたご協力をお願いいたしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。